

整備機器

新商品

小野谷機工

TB・LT・PCホイールバランスー

「DYNAMAX TBm-250」ほか

超偏平対応機、旗艦機などを上市

時代とともにクルマやタイヤは変化し続け、それに合わせて整備のあり方も変わっていく。しかしその現場で、安全と軽劣化の両立をいかに図るかは不変のテーマだ。店のヒットで誰もが楽に効率的に、安全に作業でき、高い品質の整備を提供する——タイヤ整備機器の唯一の国産メーカーである小野谷機工(株)(福井県越前市・三村健二社長)はそれに取り組み続けている。

今年、創業50周年を入した。「節目の年に、迎えた同社。それを機 お客様のニーズに合ったとして、多数の戦略的 た新しい価値を生み出す商品」を新たに市場に投入した。商品ラインアップ

した。先般「く」になった、三村社主のモノづくりにかけた「思い」を次代に繋げられるのではないかと、宇田公郎専務はこのように言う。

今回のこの欄では、商品開発本部機器商品開発部の杉本和則氏にホイールバランスーの新製品について解説してもらった。

◇ このほど上市した新商品は、①超偏平ワイドシングルタイヤ対応のTB・LT・PC用ホイールバランスー「DYNAMAX(ダイナマックス) TBm-250 Luce

さん」は、「一体型の低床からLT、PCまで幅広いレンジに対応する。しかも最大測定重量250kgで、複数輪を単輪化する超偏平ワイドシングルタイヤにも対応が可能だ。実演デモを行う杉本さんは「一体型の低床新製品の特徴。測定時

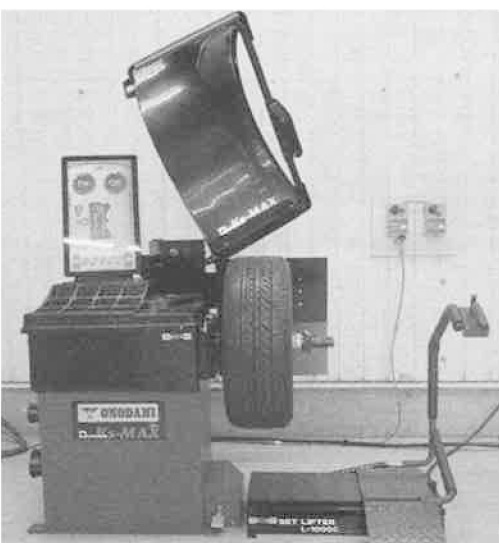
(ルーチェ)」、②PC式リフトを内蔵しているフラッグシップモデル「ダイナマックス Ks-MAX(ケイスマックス) Luce」、③「ダイナマックス Ks-8ST/8AR」。

「TBm-250」は適用リム径10〜30インチと、これ1台でTBからLT、PCまで幅広いレンジに対応する。しかも最大測定重量250kgで、複数輪を単輪化する超偏平ワイドシングルタイヤにも対応が可能だ。実演デモを行う杉本さんは「一体型の低床新製品の特徴。測定時

間を短縮し、同時に安全性を一段と向上させた。またTBバランスーとして初めて、LED照明装置を採用。視認性を高めることで手元の作業をしやすいとした。



「ダイナマックス TBm-250 ルーチェ」と杉本和則氏



「ダイナマックス Ks-マックス・ルーチェ」④ 「TBm-250」のモニター部⑤ 「Ks-マックス・ルーチェ」のタッチ式液晶パネル⑥



クイックナット式「ダイナマックス Ks-8ST」④ エアーロック式「ダイナマックス Ks-8AR」④

とPC用各種コーンはおフションで用意した。

インター照射など、最新のセンシング技術を採用した。またエアーロックシステムを採用すること、セッティングの際の取り付け誤差を防止。自動開閉式タイヤガード、低速回転測定、LED照明装置を採用し、作業効率と安全性を高めている。

「Ks-MAX Luce」は、最高峰を目指して開発した、同社のハイエンドモデル。杉本さんは「誰が操作しても同じ測定結果を得られ、誰が作業しても同じ修正結果が出ます」とし、作業品質の向上と作業の均質性向上を図った。

それを表現するために、レーザーセンサーやリム幅センサー測定による自動入力、位相位置へのレーザーポ

作業に際しては大型21.5インチの液晶パネルでのタッチ式を採用。面倒な操作は一切不要だ。オートポジションセンサーシステム(WAS)機能の搭載によりウェイトの分割貼付に対応する。

「Ks-8ST」はワンタッチイックナット、Ks-8ARはエアーロックと、取り付け方式によって異なる。なお小野谷機工では、バランス作業に際して、専用タイヤリフトの使用を推奨している。作業時の軽劣化や腰痛防止、取り付け誤差の防止など、作業品質の観点でバランスーリフトは非常に有用だ。同社ではバランスー用リフトとして「L-1000C」「L-1200」を用意している。